

増え続ける高齢者人口に対して、
介護に関わる今後の方向性について

住民同士の助け合う仕組みの現状と支援は？



磯部 亜希 議員

答

介護保険制度の枠組みを超えた支援体制充実に努めます。

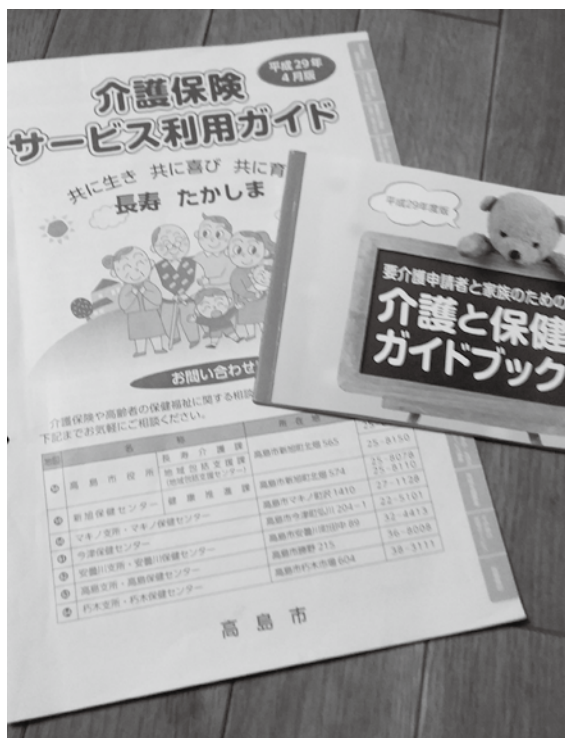


問 介護老人福祉施設の
入所待ち309人の実
態と福祉施設全体の数
が適正かを問う。

答 健康福祉部長
309人のうち市民が
214人で、このうち他の
施設に入所されていない
161人が入所の必要性が
高いと考えています。入所
待機者は、制度変更により
一旦減少したものの増加傾
向にあり、施設整備の検討
が必要な状況になっていま
す。一方で施設整備は、高
齢者が負担する介護保険料
や市の財政負担の増加につ
ながります。次期の第7期
介護保険事業計画の策定に
あたり重要な検討課題とし
て取り組んで参ります。

問 介護予防・生活支援
サービス事業における
サービスAとサービス
Bの役割分担、サービ
スBの今後の展開につ
いて問う。

答 健康福祉部長
今年度から、住民同士の
支え合いによる訪問型サー
ビスBを創設しました。こ
れは専門職でない場合に
あっても提供可能である簡
易な家事支援です。訪問型
サービスAは継続していき
ますがサービスBにより地
域の担い手を増やし、介
護職等専門職の方が本来の
身体介護等の必要な支援に
専念できることにつながる
と考えています。サービス
Bを今年度は試行的に実施
し、住民団体が今後も取り
組みやすい提供体制になる
よう考えていきます。



介護保険のパンフレット

問 地域住民同士が助け
合う仕組みの現状と運
営に対する支援につ
いて問う。

答 健康福祉部長
現在、朽木地域の住民組
織による移動支援サービス
が行われ、担い手である高
齢者の生きがいや介護予防
につながっていると認識し
ています。市では「生活支

援体制整備協議体会議」を
設置し、市全体の生活支援
サービスについての整備状
況や、各地域課題について
意見交換を行っています。
取り組みやすい手法や課題
解決策について共に考え、
話し合い、介護保険制度の
枠組みを超えた支援体制充
実に努めて参ります。

その他の質問

●高島市が保有する遊休財
産について